

総務委員会

令和5年9月1日（金）

午前10時14分～午後2時41分

議会第1会議室

【出席委員】宮崎 健委員長、富永明美副委員長、藤田佳典委員、中村宏志委員、
重松 徹委員、堤 正之委員、江頭弘美委員、黒田利人委員

【欠席委員】なし

【委員外議員】なし

【執行部出席者】

・国スポ・全障スポ推進部 鶴国スポ・全障スポ推進部長
ほか、関係職員

【案 件】

・付託議案について

○宮崎委員長

それでは、ただいまから総務委員会を開催いたします。

それでは、最初に4常任委員会による連合審査会の開催についてお諮りいたします。第57号議案 令和4年度佐賀市一般会計歳入歳出決算中歳入全款の審査につきましても、ほかの常任委員会の付託議案とも関連がありますので、佐賀市議会会議規則第103条の規定に基づき、連合審査会を開催して審査したいと思います。御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議ないようですので、第57号議案中歳入全款の審査については連合審査会を開催することに決定いたしました。

次に、決算議案の審査日程についてでございますが、先ほど決定しました連合審査会を含めまして、お手元のタブレット端末に掲載の審査日程案のとおり進めたいと思います。

なお、決算審査における執行部の説明については、お手元のタブレット端末に掲載の決算審査の説明要領についてにて周知されておりますので、確認をお願いいたします。

現地視察を希望される場合は、審査終了時までにお申出ください。

現地視察につきましては、資料や執行部の説明、答弁などで疑義が明らかにならず、現地を見なければ、賛否の判断ができない場合などに行うことに御留意をください。

それから、連合審査会時の席次につきましては、配付しております席次表のとおりですので、よろしく願いいたします。

それでは、ここで総務委員会を一旦休憩いたします。この後、連合審査会を大会議室で開催いたします。移動をお願いいたします。

ちなみに、総務委員会は連合審査会が終わりましたら、国スポ・全障スポ推進部の審議

がございますので、帰らないように注意いただければと思います。

以上で一旦休憩いたします。

◎午前10時16分～午後2時13分 休憩

○宮崎委員長

それでは、これより総務委員会を再開いたしますが、審査の前に、鶴部長より申出がございますので、発言を認めます。

○鶴国スポ・全障スポ推進部長

今日は審査の前に一言お礼とお断りといいますか、御報告させていただきます。

今日は本会議の際は、議員一同、国スポのポロシャツを着用いただきまして、PRに御協力いただきました。ありがとうございました。

今日この9月1日が開会前400日前ということで、節目の日でもございましたので、委員会の審査の際に、我々国スポ・全障スポ推進部のほうでは、このポロシャツのほうがユニフォームということになりますので、執行部のほうも全員ポロシャツの着用で委員会に出席させていただいております。御理解のほどよろしく願いいたします。

それでは、これから説明させていただこうと思います。よろしく願いします。

○宮崎委員長

それでは、4常任委員会連合審査会に引き続き、第57号議案 令和4年度佐賀市一般会計歳入歳出決算議案における総務委員会所管分の歳出について審査を行います。

審査に入ります前に注意していただきたい点を幾つか申し上げます。

発言される場合は必ず挙手して、指名されてからマイクを御使用の上、発言してください。

執行部に申し上げます。委員会は、限られた時間で集中的な審議が必要ですので、簡潔な説明を心がけてください。

なお、決算額の数字の読み上げは必要ありません。また、答弁は役職に関わらず、質問に対し回答できる方がされればというふうに思います。

次に、委員の皆様申し上げます。質疑につきましては、決算審査ですので、その範囲内で行ってください。それから、多岐にわたる質疑があるかと思いますが、答弁が分かりにくくなりますので、一度に2問ぐらいに絞っていただけたらというふうに思います。

また、審査日程上では詳細説明を求める日程を組んでおりませんので、そのことを踏まえて今日は審査に臨んでいただきたいと思います。

また、現地視察の希望がある場合は準備の都合がありますので、お早めに申出ください。

なお、今回の決算議案審査では、総務委員会として意見や提言を行ったほうがよいと判断した場合は取りまとめを行います。参考までに、これまでの決算議案に対する附帯決議の案件一覧をSide Booksに掲載していますので、お知らせいたします。

また、本日の審査で主に使用する資料は、Side Booksの1、定例会、令和5年9

月のフォルダ内にあります、2、議案提案理由説明の各ファイルと、同じく令和5年9月のフォルダ内にあります、3、補足説明資料の各ファイルになります。委員の皆様、以上のとおり、よろしくお願いいたします。

それでは、国スポ・全障スポ推進部に関する審査に入ります。

第57号議案について執行部の説明を求めます。

◎第57号議案 令和4年度佐賀市一般会計歳入歳出決算 説明

○宮崎委員長

ただいま説明がありました。委員の皆様から御質疑をお受けいたします。

質疑のある方、挙手をお願いいたします。

○富永副委員長

子どもたちの給食交流は佐賀市の小・中学校全校でされているんですか。それとも何校かされているのか。

○久富国スポ・全障スポ総務課長

全校で行っております。

○江頭委員

ボランティアに係るところなんですけど、登録者数81名、大体どのくらいの予想で賄えるものかというのは計画を立てられていたと思うんですけど、その辺はどうなんですか。この81名というのは、集まったほうか、集まっていないほうか。

○鶴国スポ・全障スポ推進部長

この81名というのは、広報・市民運動のボランティアと言いまして、主に国スポ開催のPRをしてもらうボランティアになっています。実際大会を運営するほうのボランティアが、協議会運営ボランティアということで、下のほうに書いている分なんですけれども、こちらのほうが年度末で158名の登録で、直近の8月末現在では264名の登録になっております。来年度、大会本番を迎えるに当たりまして、おおよそ800名ぐらいは必要だろうと思っております。先催県の実例を見ますと、やはり開催の年度になってから急激に登録者数が増えております。それは今年開催する鹿児島も増えておりまして、鹿児島等の実績でいきますと、2,000名を超える登録があつているということで、うれしい悲鳴なんですけれども、じゃどこでボランティアをしてもらおうかというのに頭を痛めるような事態にもなっているということで聞いておりますので、佐賀市のほうでも、そういった事態にも備えて、いろんなボランティアのお仕事をどういったふうにさせていただいたほうがいいのかというのは、今リハーサル大会の開催をする中で、来ていただいたボランティアの方に、実はウェブ上で、LINE上でアンケートの実施しております。

競技によっては朝から夕方まで1人の方に入ってもらおうとか、午前で分ける、午後で分けるというやり方を試行錯誤しております。どのぐらいの時間でどういった業務の割り振りをしたほうが、皆さんの充実度が上がるのかというのも、参加していただいた方にア

ンケートを取りながら、試行錯誤して本番に備えたいというふうに考えているところです。

○江頭委員

よく分かりました。

これは決算ですから決算の部分で言いますと、今登録者158名、直近が264名なんですけど、男女比率はどうなっているんですか。それと、年代的、アバウトでいいんですけど。

○国スポ・全障スポ総務課職員

今のところの数字の男女比というのが、申込みの際にチェックを入れる欄を設けておりませんで、年齢につきましては、戻りましたら集計を取ることは可能でございます。

○鶴国スポ・全障スポ推進部長

昨今の社会情勢から、申込みの際に男女を記載していただく欄を設けていないという状況がありまして、私のほうも登録者の一覧は見たことがあるんですけども、大体子育て世代の方はどうしても時間が取れないのでということで、50代、60代、一番上の方は70代後半、80代の方もいらっしゃいます。あと、意外に中学校、高校生で、この登録が中学校にならないと登録活動していただけませんよという仕組みにしておりますが、小学生、来年卒業するんで登録したいんですけどもというような問合せもあっているところで、意外に年齢の低い方の応募もあっているというような感じを私のほうは、個人的に受けておるところです。

○江頭委員

中学校とか高校にそういうボランティア依頼というのはやっていないで、そういう動きがあるということですか。

○鶴国スポ・全障スポ推進部長

個別にボランティアの依頼は、小・中学校には行っておりませんが、学校訪問して、全ての小・中学校、高校まで、県と一緒に連携しまして、今訪問活動をやっております。それは令和3年度から行っておりますけれども、ほぼほぼ今年度いっぱい大体全部の学校を回るような形になっておりまして、全県下ですね。佐賀市以外の周りの市町でも同じような活動をされていまして、国スポというのは一体どういうもので、自分の市町ではこういう競技をしますよと、どういう会場を使って、こういう競技がありますからというようなPRを、学校のほうに時間をつくっていただいて児童・生徒に紹介しているというような活動もありまして、そういったところから応募があっているのかというふうに考えております。

○宮崎委員長

先ほどの年齢のところは、答えはどうか。よかですね。

(発言する者あり)

男女比は分からんけんですね。

○重松委員

このスポテンのイベントの経費なんですけれども、いろんな体験ゾーンとかあったらし
いんですけれども、具体的にどういったことをされたんですか。

○国スポ・全障スポ総務課職員

昨年度実施しました内容なんです、クレー射撃のデモと言いまして、VRのようなもの
を使いまして行うものが1つと、陸上競技用の車椅子の体験、そして陸上体験というこ
とで10メートル走を行っております。

そして、スマートフェンシング体験と言いまして、特別の機械といいますか、着用しま
してスマートフェンシングの体験が簡単にできるようなものがございます。それも行いま
した。

そして、炭酸の足湯を体験もしていただいております、もう一つが聾学校と共同で今
行っております、SAGA2023で使えなくなりましたのぼり旗の再利用をいたします、裂
き織りの体験なども一緒に行っております。以上でございます。

○重松委員

これは事前に予約してからするんですか、人数を決めてじゃなくてですか。

○鶴国スポ・全障スポ推進部長

事前予約制には基本になっておりませんので、スポテンの中での国スポのブースの設置
は、昨年度とその前の年度、令和3年度から開始しております、今回2回目、昨年度が2
回目の開催になっております。主に国スポの中でどういった競技をしますよという紹介の
コーナーと競技の体験といったようなことで、国スポに興味を持っていただく、認知度を
上げるというような活動を目的に行っております。

○重松委員

予定していた参加者と実際、開催してどうでしたか。

○国スポ・全障スポ総務課職員

スポテン2022は、基本的にはスポーツ振興課の事業でございまして、全体では2,200人
ぐらいの来場者がありました。その中で、国スポの体験ブースに訪れていらっしゃる方
は約300人でございます。いろんな競技で、延べにしますと700人ぐらいの方に体験して
いただいております。

○堤委員

ボランティアの件で少し聞きたいんですけれども、ボランティアに関しては、佐賀市の
ほうで集めるのか、それとも県の国スポの本部でやるのか、そこら辺はどうなっている
んですか、関係は。

○鶴国スポ・全障スポ推進部長

国スポ全体の所管を県の実行委員会と市町の実行委員会で分けておりまして、県のほう
の所管する分というのは、総合開会式、それと総合閉会式、それと全国障害者スポーツ大
会の開会式、競技会、閉会式という形になっていまして、そのほかの国スポの競技会の運

営につきまして、市町の実行委員会がやりますよという形になっております。

今回、我々が募集をかけているのは、市町の競技会の運営に関わるボランティアの方と、県のほうはサガンティアという名称をつけまして、総合開会式と閉会式、それと全国障害者スポーツ大会のお手伝いしていただくボランティアの募集を同時並行でされています。

我々としては、当然、サガンティア、県のほうのボランティアに応募された方も、時間が許す限り、うちの競技会のボランティアにも参加していただきたいと。市町の協議会運営のボランティアに応募された方は、できれば県のほうの総合開会式、それから全国障害者スポーツ大会のお手伝いもしていただきたいということで、申込みの際に、それぞれの実行委員会のほうに情報を提供していいでしょうかという御案内も同時にさせていただきまします。いいですよということで了解いただけた方には、それぞれの実行委員会のほうから、またさらに応募いただいた方に、うちのボランティアのほうに登録いただけませんかという御案内をまた差し上げている形になっております。

○堤委員

ボランティアというのは、例えば佐賀市民でなければいけないとか、何かそういう条件というのはあるんですか。

○国スポ・全障スポ総務課職員

原則、佐賀市民の方からの御応募をお願いしております。市外の方も御相談はございますが、通勤されている方も大丈夫ということになっております。佐賀市内にお住まいの方、もしくは佐賀市内に通勤通学されている方ということになっております。以上です。

○富永副委員長

栃木国体なんですけれども、私はニュースとかネットとかでしか知ることができなかったんですが、実際57名視察に行かれています中で、実際に行かれて、ここはすごかったとか印象的だったとか、そういう御感想があればお聞かせください。

○鶴国スポ・全障スポ推進部長

まず、私が行きましたのは、総合開会式と総合開会式に続けてある競技を視察に私のほうは参りました。まず思いましたのは、宇都宮のメイン会場のほうに行きましたけれども、宇都宮のメイン会場の宇都宮駅の装飾が物すごく、国体一色になっていたというのと、町の駅のお土産物の売場の方の対応も非常によかったというところもあります。

あと、佐賀市で開催する分との違いとしては、メイン会場が電車で2駅、3駅ぐらいのところ、大体その会場に着くまでに宇都宮駅から最寄り駅まで10分ちょっとぐらい、それと、そこからのシャトルバスで15分、20分ぐらいと、合計30分ぐらいかかる場所にございました。その会場まで行くのがある程度時間がかかるというところで、これについては佐賀の2024国スポの場合には、主たる駅から徒歩でも20分圏内という場所の違いが一番違うなと感じたところがございます。

○宮崎委員長

ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、ほかに質疑もないようですので、執行部の職員の方は退室されて結構です。

◎執行部退室

○宮崎委員長

それでは、本日の決算議案審査に関して、現地視察の希望はありますでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

次に、本日の決算議案審査において、委員会としての意見・提言を取りまとめる案件の候補がありますでしょうか。

今日これを決めておかないと、この国スポ・全障スポに関しては、もうちょっとないということになりますが、今日の様子では大丈夫ですかね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

分かりました。それでは、国スポ・全障スポ推進部に関する議案については意見・提言の取りまとめは行わないことといたします。

それでは、そのように取扱いたいと思います。

次の委員会は来週9月4日月曜日、午前10時から開催いたします。

これで本日の総務委員会は終了いたします。お疲れさまでした。